

広報

令和7年(2025年)

たなとん

4 APRIL
月号

No.796

たくさんの希望を胸に新たな舞台へ



2025年

棚倉城築城400年



1625年、丹羽長重公によって築城された棚倉城は2025年が築城400年の年にあたります。町では、築城400年を記念して、様々な事業に取り組んでまいります。

「築城400年記念主なイベント」

○上る城 城熱 棚倉城フェスタ

・日時 10月25日(土)

・場所 棚倉城跡本丸跡地

○丹羽長重公御入城再現大名行列(仮称)

・日時 10月25日(土)

・場所 磐城棚倉駅～棚倉城跡(予定)

○棚倉藩歴代藩主御子孫らによるシンポジウム

および棚倉城に関する歴史講演会

・日時 11月15日(土)

・場所 町文化センター

○棚倉城跡ライトアップ

・期間 4月～11月

「築城400年記念ロゴマーク」



お堀に住む大亀が水面に浮かぶと決まってお殿様が転封されたという言い伝えから、別名「亀ヶ城」ともいわれているため、今も唯一残る二ノ丸西面の石垣を亀の甲羅に見立て、シンボリックに表現しました。400年の数字の色はお城に咲く「桜(ピンク)」、棚倉町の花「ツツジ(赤)」、築城以前から棚倉の町を見守る「ケヤキ(緑)」を表現しています。

春のお出かけ情報

たなぐらsmileフェスタ

- 日時 **4月12日(土)** 午前10時～午後4時
○会場 棚倉城跡内
○主な催し 地域の新商品・新サービス特設ブース、
体験コーナー、デジタル健康測定コーナー、
eスポーツおよびVR体験、アクティビティ体験コーナー
■お問い合わせ
たなぐら商工業魅力発信実行委員会（棚倉町商工会内） ☎33-3161

第4回おしろまあけつと

- 日時 **4月26日(土)** 午前10時～午後3時
○会場 棚倉城跡多目的広場、阿部正備茶室前、棚倉城跡内
○主な催し キッチンカー、物販ブース、周辺商店街との連携企画、
スタンプラリー
■お問い合わせ
たなぐらまちづくりメイト事務局 ☎090-7664-7733

駅からハイキング ～棚倉城築城400年 歴史と花のまち歩き～

- 日時 **4月7日(月)～5月25日(日)**
○最寄り駅 磐城棚倉駅
○その他 詳しくは駅からハイキングのホームページを
ご覧ください。



ホームページ

- お問い合わせ
一般財団法人棚倉町活性化・観光物産協会 ☎33-7886

花の名所を巡るスタンプラリー

町内の花の名所を巡るドライブスタンプラリーを実施しています。対象スポットを巡りスタンプを集めると、商品が当たる抽選に参加できます。この機会にぜひご覧ください。

	棚倉町桜ドライブスタンプラリー	花の王国ふくしまフラワースタンプラリー
開催期間	4月10日(木)～27日(日)	3月19日(水)～6月30日(月)
対象スポット	棚倉城跡、花園しだれ桜、赤館公園	棚倉城跡、花園しだれ桜、赤館公園、 山本不動尊
ホームページ	スタンプラリー参加・詳細 はこちらから▶ 	スタンプラリー参加・詳細 はこちらから▶ 
主催	一般財団法人棚倉町活性化・観光物産協会	福島県デスティネーションキャンペーン実行委員会
お問い合わせ	一般財団法人棚倉町活性化・観光物産協会 ☎33-7886	ふくしまフラワースタンプラリー2025運営事務局 ☎022-224-0013



6,800万円

(対前年度比5億800万円の増)

令和7年度 当初予算

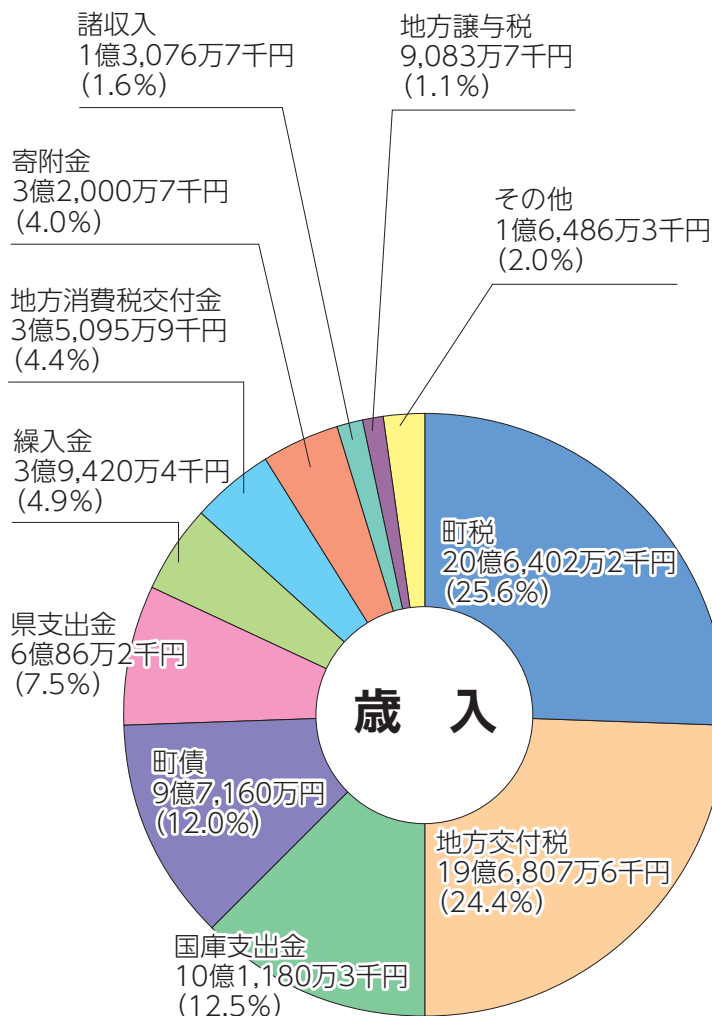
令和7年度予算編成にあたって

令和7年度は「人と緑と歴史が結び合う幸住空間 躍動 たなぐら」を将来像とする第7次棚倉町振興計画を実行する初年度であります。

予算編成にあたっては、持続可能な財政構造の確立に努めながら、人口減少抑制に関する対策をはじめ産業の振興と活性化、子ども子育ての支援、インフラの整備など、これからのまちづくりや当面の課題に対応するための予算編成としました。

デジタル変革をはじめとして、私たちの取り巻く環境は今後もめまぐるしく変化することが予想される中、本町においては振興計画や第3期棚倉町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、各種施策に積極的に取り組んでまいります。

引き続き厳しい財政状況でも幸住空間を実現できるよう各施策に取り組んで参りますので、町民の皆様には、一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



予算概要－歳入

町税については、令和7年度の定額減税対象者の減に伴う町民税（個人）の増及び固定資産税（家屋・償却資産）の増等により、対前年度比10.3%の増額を見込んでいます。

地方交付税については、国が示した推計に基づく普通交付税の増等により、対前年度比4.3%の増額を見込んでいます。

国庫支出金については、児童手当負担金、公立学校情報機器整備費補助金や国宝重要文化財等保存整備費補助金等の増により、対前年度比19.1%の増額を見込んでいます。

地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充当される経費の見込み

歳入 地方消費税交付金（社会保障財源化分） 1億9,017万8千円

歳出 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 17億4,147万3千円

※社会保障4経費とは、年金、医療、介護、子育てを指します。

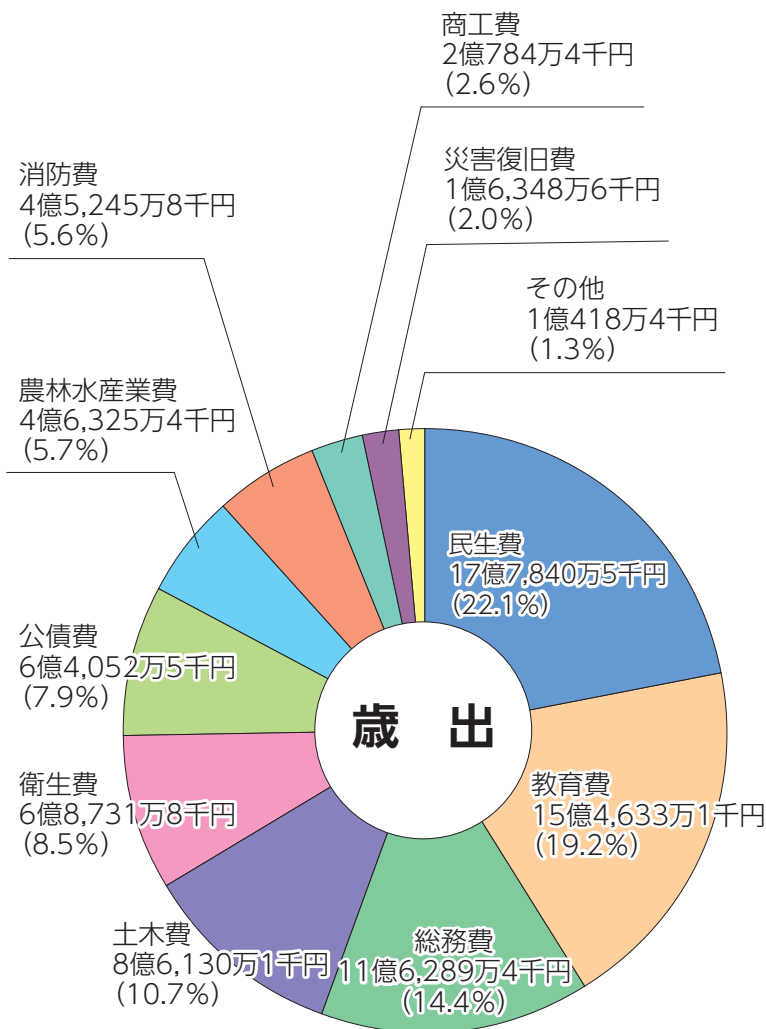
特別会計

会 計 名	予 算 額
国民健康保険特別会計	12億3,599万8千円
後期高齢者医療特別会計	1億7,213万4千円
介護保険特別会計	15億5,910万4千円
霊園整備事業特別会計	70万3千円

公営企業会計

	区 分		予 算 額
	収 入	支 出	
上水道事業会計	収益的	収 入	3億6,570万円
	収 支	支 出	3億5,610万4千円
	資本的	収 入	1億3,008万4千円
	収 支	支 出	2億6,523万7千円
簡易水道事業会計	収益的	収 入	6,990万4千円
	収 支	支 出	4,444万6千円
	資本的	収 入	2,931万5千円
	収 支	支 出	3,823万4千円
下水道事業会計	収益的	収 入	3億3,325万4千円
	収 支	支 出	3億3,730万5千円
	資本的	収 入	1億6,229万7千円
	収 支	支 出	2億3,100万1千円
資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、補填財源で補填するものとします。			

一般会計 80億



予算概要－歳出

民生費は、児童手当費等の増により、対前年度比6.7%の増額となりました。

教育費は、ICT教育推進事業費や施設維持管理費の増により、対前年度比12.8%の増額となりました。

総務費は、活性化協会費や人口流出抑制事業費等の増により、対前年度比1.8%の増額となりました。

土木費は、社会資本整備総合交付金事業費や道路メンテナンス補助事業費等の増により、対前年度比2.1%の増額となりました。

衛生費は、予防接種事業費や東白衛生組合負担金等の増により、対前年度比2.0%の増額となりました。

農林水産業費は、ふくしま森林再生事業費等の減により、対前年度比18.0%の減額となりました。

消防費は、防災行政無線維持管理費等の増により、対前年度比27.2%の増額となりました。

令和7年度の主な事業



5 明日を拓く人と文化を育むまち【子育て・教育・文化分野】

- 幼稚園送迎バス・スクールバス運行業務事業 7,058万9千円
児童・園児が、安全に安心して通学・通園できるよう支援します。
- 文化センター大規模改修事業 4億7,756万3千円
文化芸術活動の拠点として充実を図るため、舞台照明や舞台機構等の改修を行います。
- 棚倉城跡石垣復旧事業 1億6,348万円
貴重な歴史資源を後世に残していくため、石垣の災害復旧を行います。
- 棚倉町総合体育館等施設維持管理事業 5,723万7千円
スポーツ施設の充実を図るため、施設照明のLED化更新工事を行います。



棚倉町文化センター

6 未来への基盤が整ったまち【都市基盤分野】

- 都市計画マスタープラン改定事業 987万円
持続可能なまちづくりの方針を定めるため、都市計画マスタープランを改定します。
- 歴史的風致維持向上計画推進事業（道路整備） 2億3,500万円
歴まち計画に基づき、棚倉城跡周辺をはじめとした町道整備を行います。
- 生活交通対策事業 3,658万6千円
JR水郡線や各社路線バスの維持・存続に向けた取り組みなどを行います。



道路改良を行った町道

令和7年度 新たに以下の事業を開始します

- 棚倉城築城400年記念事業 3,432万7千円
棚倉城築城400年を記念し、講演やイベントなどを実施します。
- きぎょう支援事業（起業・創業事業） 100万円
空き店舗を利用した起業・創業者に関する補助加算を行います。
- 企業人材確保奨学金返還支援事業 180万円
町内企業に就職した大学生等に対し、奨学金の返還額に対してその一部を補助支援します。
- すこやか赤ちゃん応援事業 1,474万1千円
多様な子育て支援の一環として、すこやか赤ちゃん応援金一時金として支給します。
- ステップアップ応援金支給事業 3,075万4千円
小中学校入学時および高校入学時のステップアップを応援するため、応援金を支給します。
- 大学生等通学支援事業 240万円
町内に住所を有し、公共交通機関を利用して通学する大学生等に、通学定期券購入費用の一部を補助支援します。
- たな暮らし住宅取得等支援事業 2,000万円
町内の子育て世帯等が住宅を取得または新築した場合にその費用の一部を補助支援します。

第7次棚倉町振興計画 基本目標別



1 にぎわいと活力あふれるまち【産業分野】

○歴史的風致維持向上計画推進事業（観光拠点施設整備） 4,097万5千円

歴まち計画に基づき、棚倉城跡や赤館公園・馬場都々古別神社周辺において観光拠点施設を整備します。

○水田営農対策事業 1,511万7千円

飼料用米や加工用米等の生産に対して助成を行います。

○多面的機能支払事業 5,002万6千円

中山間地域等直接支払事業 1,752万4千円

水路や農道等を維持管理するための地域共同作業を支援します。

○きぎょうフォローアップ事業 3,688万9千円

起業・創業者への支援や企業の人材確保に関する支援などを行います。



築城400年記念歴史講演会

2 とともに生きともにつくるまち【協働・行財政分野】

○白河地方広域市町村圏整備組合市町村分担金事業 2億5,068万5千円

白河地方広域市町村圏整備組合に常備消防や広域ネットワーク維持管理等に係る分担金を負担します。

○ふるさと納税推進事業 1億5,200万4千円

ふるさと納税で寄附をいただいた方々への返礼品の送付等を行います。



オーストラリアホームステイ

3 安全・安心で環境にやさしいまち【生活環境分野】

○消防施設整備事業 3,817万4千円

小型ポンプ積載車の更新、耐震性地下式防火水槽の整備等を行います。

○防災行政無線維持管理事業 1億2,494万2千円

防災体制の充実を図るため、防災行政無線の操作卓更新工事を行います。

○東白衛生組合分担金事業 3億5,292万3千円

東白衛生組合に廃棄物および尿処理業務を運営するための分担金を負担します。



消防団防火パレード

4 健やかで幸せに暮らせるまち【保健・医療・福祉分野】

○健康増進事業 1,541万円

特定年齢の方へのがん検診無料クーポン券の交付や健幸アンバサダーを活用した健康情報の啓発、各種検診の受診率向上に努め、健康寿命の延伸に向けた取り組みを行います。

○予防接種事業 4,752万7千円

定期予防接種や新型コロナウイルス予防接種など感染症の予防に向けた取り組みを行います。

○障がい者総合支援給付事業 3億2,187万2千円

障がい者福祉サービスの充実を図るため、障がい者の生活・就労を支援する施策を展開します。



健幸アンバサダー養成講座



4月1日より带状疱疹ワクチンが定期予防接種となります

65歳以上の高齢者の発症予防及び重症化予防を目的としたワクチン接種費用の一部を助成します。なお、対象の方には、個別通知でお知らせします。

対 象 者	1. 令和7年度65歳になられる方 2. 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいで日常生活がほとんど不可能な程度の障がい有する方（免疫機能の障がいで身体障がい者手帳1級程度） 3. 令和7年度に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方（令和7年度から令和11年度までの5年間の経過措置） 4. 令和7年度において、101歳以上の方（令和7年度のみ経過措置） ※対象者は年度によって異なるため、接種の機会を逃さないようにご注意ください。	
使用ワクチン	生ワクチン	組換えワクチン
接 種 方 法	皮下接種	筋肉内接種
接種回数と間隔	1回	2回（2カ月以上の間隔をあける）
自 己 負 担 額	1回あたり2,500円	1回あたり6,500円
接 種 条 件	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種できません。	免疫の状態に関わらず接種可能

認知症サポーター養成講座を開催しました！

3月4日(火)、東白管内消防職員19名を対象に棚倉消防署にて認知症サポーター養成講座を開催しました。

この講座は、認知症に関する正しい知識を身につけ、認知症の人やその家族が安心して暮らし続けられる地域づくりのため、認知症を含む高齢者への理解を図ることを目的として開催しています。

受講した方からは、「認知症への理解が深まった」「認知症の方への接し方など、今後の活動に生かしていきたい」などの感想がありました。

受講を希望される事業所があれば高齢者係までお問い合わせください。



保健協力員制度廃止について

棚倉町保健協力員につきましては、行政区長様はじめ、地域の皆様からのご協力をいただき活動が続けてきましたが、令和7年3月31日をもって制度廃止となりました。昨今、広報やSNSの利用など時流の変化により、活動の機会が変化していることや再雇用制度により就労されている方も多く、選出が困難となっていることを受け廃止の運びとなりました。今後は、より一層SNSや健康アンバサダーのご協力をいただきながら健康づくりを普及していきます。

これまでの活動に感謝申し上げますと共に、多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました。

棚倉町すこやか赤ちゃん応援給付金支給事業のご案内

令和7年4月から、「棚倉町すこやか赤ちゃん応援給付金支給事業」が始まります。
お子さんの誕生をお祝いするとともに、今後のすこやかな成長を支援するため、新生児一人あたり10万円の一時金を支給いたします。詳細は以下のとおりです。



内 容	新生児一人あたり 10万円 を支給
対象となる方	令和7年4月1日以降に出生したお子さんの保護者の方 (棚倉町民に限ります)
申請・支給方法	出生届後に申請書をご提出ください。申請書に基づき給付金を指定の金融機関口座にお振り込みします。 ※申請書は母子健康手帳の交付時にお渡しします。 ※オンライン申請も可能です(出産後であれば、出生届前から可能です)。 【提出先】役場福祉係、保健福祉センター(オンライン申請も可能です)

本事業の開始に伴い、「棚倉町すこやか赤ちゃん応援券支給事業」は廃止となります。

令和5年5月1日～令和7年3月31日生まれのお子さんには、令和7年4月以降に支給予定であった枚数分の金額を口座振込により一括支給いたします。

なお、4月中に対象の方には文書で通知いたします。



ホームページ

春は自律神経の乱れに注意しましょう

春の体調不良は自律神経のバランスが崩れることが主な原因とされています。春は、寒暖差が非常に大きく、気圧変動も激しい季節であるため、気温、気圧といった自然の要因に加え、生活環境の大きな変化が自律神経に影響を与えて体調不良を起こしやすくなります。

このような症状
ありませんか？

- ☐なんとなく調子が良くない
- ☐体がだるい
- ☐睡眠をとっても眠い
- ☐気分がすぐれない

チェックがついた方は要注意！
次のポイントを心がけましょう。

①規則的な生活を送る

朝は日光を浴び、夜更かしや昼過ぎまで眠ることは避け、毎日同じサイクルで過ごすことが大切です。

②栄養バランスを考えた食事をする

③適度に身体を動かす

④体温を調整しやすい服装を心がける

栄養講座「食事から始めるフレイル予防」を開催しました！

3月11日に、福島県栄養士会渡邊莉鹿子管理栄養士を講師に、健康で長生きするための栄養のコツを学びました。

エネルギーをしっかり摂ることやタンパク質を補給するために、魚の缶詰や大豆製品などを上手に摂るなどの紹介がありました。



重複・頻回受診を見直しましょう



重複受診とは・・・同じ病気で複数の医療機関を受診することです。

頻回受診とは・・・同じ病気で同じ医療機関を受診する回数が過度に多いことです。

重複受診・頻回受診をやめる理由

- ① 同じような検査や投薬・注射など、繰り返し処置が行われ、体への負担や副作用などの恐れがあります。
- ② 医療機関を変えている間に病状が悪化してしまう恐れがあります。
- ③ 同じような検査や処置でも、受診のたびに初診料、再診料を支払うことになるため、医療費を多く支払うことになります。
- ④ 国保加入者の医療費は、皆さんに納付いただく国保税や自己負担でまかなわれます。そのため、医療費が増えると国保税額の引き上げにつながります。

重複受診・頻回受診を防ぐには

- ① かかりつけ医を決めましょう。
- ② 自己判断で服用薬を変えたり飲むのをやめたり、通院をやめたりせず、医師を信頼し指示を守りましょう。
- ③ 体調が悪くないまたは悪化していないのに頻繁に受診するのはやめましょう。
- ④ 受診の際は曖昧にせず、気になることは納得いくまで医師の説明を受けましょう。

年に一回の特定健診を受けて健康管理をしましょう

健診で病気を早期発見できれば、受診回数も少なく治療ができます。

また、健診結果から生活習慣を見直し、健康管理を行いましょう。

国保からのお願い



就職などで国保から職場の健康保険に切り替わった方は、これまで使用していた国保の被保険者証等は使用できません。また、マイナ保険証を持っていても、自動的に切り替わりませんので、手続きが必要です。

新しい健康保険証ができる前に医療機関等を利用する場合は、お勤めの事業所で「健康保険被保険者資格証明書」を発行してもらい、診察を受けるようにしてください。



起業・創業を支援します

起業・創業支援事業

町内において、起業・創業（※）をする方に対して、その起業・創業に向けた施設整備や備品購入等にかかる経費の一部を補助します。

※現在事業を営んでいない方が恒常的な事業所等を確保し、開業の届出等を提出し新たな事業を開始すること

補助対象経費

事業所等の開設に要する改修費（居住用と共用部分は除く）、備品購入費、使用料（レンタル・リース代）、委託料等、補助対象経費の合計額が5万円以上で町内事業者に支出した経費に限ります。

なお、今年度から空き店舗を活用した起業・創業に対して補助金額に20万円を上限に加算します。

補助金の額

条件によって10万円、30万円または50万円を上限に補助します。

詳細については、お問い合わせください。

企業の魅力を発信する地元企業を支援します

地元企業魅力PR動画作成支援事業

求人票だけでは伝わらない自社の魅力等について動画を活用して情報発信しようとする町内事業者に対し、動画作成に係る経費の一部を助成します。

作成された動画は、町が行う各種企業支援にて活用させていただきます。

助成対象者

町内に事業所等を有する事業者

助成金額

15万円を上限に助成します。

助成対象経費

助成対象動画を作成するための委託料（シナリオライター費、取材・撮影費、動画編集およびデータ作成費等）とし、消費税および地方消費税の額は含まない。

助成対象動画

- ・人材採用に向けた自社のPRを目的とするもの
- ・おおむね5分以内の短時間で視聴できる構成のもの
- ・町が行う各種企業支援事業への使用に同意するもの

その他支援

企業オフィス開設等支援事業

町外から棚倉町内へ、サテライトオフィスの開設や本社機能などを持ったオフィスを移転しようとする企業へ、その開設に係る改修費やテレワーク設備費等の一部（上限100万円）を補助します。

工場設置奨励金

町内に工場等を新設、増設および移転する事業者に対し、最初に固定資産税が賦課された年度から3年間、それぞれの割合に応じて奨励金として交付します。

■お問い合わせ 産業振興課 商工係 ☎33-2113
棚倉町商工会 ☎33-3161（起業・創業支援事業のみ）

棚倉町タクシー・バス利用料金助成事業

町では、高齢者や障がい者の方に対する交通手段の確保および負担軽減のため、タクシーおよびバスの利用料金の一部を助成しています。

助成対象者

町内に住所を有し、次の①～④のいずれかに該当する方

- ①65歳以上（※）で運転免許の資格を有していない方
 - ②65歳以上（※）で小型特殊自動車運転免許のみ有している方
 - ③重度障がい者の方
 - ④介護認定を受けている方で、その介護程度が要介護4または要介護5の方
- ※令和7年4月1日時点で65歳以上の方（昭和34（1959）年4月1日以前に生まれた方）

■上記に加え、町税等を滞納していないことが要件となります。

申請

申請窓口

役場産業振興課にて随時申請を受け付けています。

受付時間

午前8時30分～午後5時15分
（土・日・祝日・年末年始は除きます）

○申請に必要なもの

- ・身分証明書（マイナンバーカード、資格確認書など官公署が発行する身分証明書）
- ※代理申請の場合は、対象者と代理人の2人分必要です。
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のうちいずれか（持っている方のみ）
- ・同居の家族以外は委任状

○助成内容

1枚あたり300円の助成券を年間120枚（最大36,000円）助成します。

◎申請書受付後、郵送で助成券を送付します。

◎現在助成券を利用している方は、更新の手続きは不要です。

■お問い合わせ 産業振興課 商工係 ☎33-2113

お知らせ

町長と気軽にトーク

トークの日

今月のトークの日は、4月18日（金）です。

行政区や団体・グループの皆さんのまちづくりに対する思い・政策について、町長と気軽に話してみませんか？

出張トーク

多くの住民の皆さんのご意見をお聴きするため、行政区、自治会、町内で活動する団体・グループが主催する総会やイベントに町長が伺います。

※トークの日・出張トークは、建設的な意見交換を図っていくものです。

■お問い合わせ・お申し込み
地域創生課 企画調整係

☎33-2112



4月の心配ごと相談

民生委員

○開催日 4月14日（月）

○時間 午前9時～正午

○場所 保健福祉センター相談室

弁護士（要予約）

○開催日 4月17日（木）

○時間 午前10時30分～午後3時

○場所 保健福祉センター相談室

※相談時間は30分程度です。

■お問い合わせ

棚倉町社会福祉協議会

☎33-2623

新組織が発足しました

一般財団法人棚倉町活性化協会、町観光協会、町物産振興会が統合し、4月1日（火）から新しく「一般財団法人棚倉町活性化・観光物産協会」となります。

○事務所

町立図書館事務室内

○業務内容

- ・オーストラリアホームステイ事業
- ・町の観光事業に関する事業
- ・町の農産物等の販路拡大に関する事業
- ・その他町の活性化に寄与する各種事業

■お問い合わせ

☎33-7886

凍霜害に注意してください

霜による農作物の被害防止のため、5月31日(土)まで棚倉町防霜対策本部を設置します。

農家の皆さんは、気象情報に注意を払い、凍霜害を防止しながら農作業を行ってください。

なお、霜注意報が発表された場合は、午後4時と午後6時10分の2回、防災行政用無線でお知らせします。

■お問い合わせ

産業振興課 農林係
☎33-2113

農作業は安全に行いましょう

春の農繁期を迎え、トラクターや田植え機などを使用することが多くなりますので、安全確保を心がけましょう。

また、ロータリーなどの農作業機を装着したり、農作業機をけん引したりする農耕用トラクターが公道を走行する場合、大型特殊免許やけん引免許等が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

■お問い合わせ

産業振興課 農林係
☎33-2113

年金相談は事前予約を お願いします

年金事務所では、待ち時間なく相談手続きをしていただけるよう、事前予約をお願いしています。相談を希望する方は、基礎年金番号のわかる年金手帳や基礎年金番号通知書、年金証書、マイナンバーカードをご準備の上、希望日の2〜3週間前までに電話またはインターネットにより予約をお願いします。

○予約受付・受付時間

・電話受付

午前8時30分〜午後5時15分
(平日のみ)

日本年金機構 予約受付専用電話

☎0570-054890

・インターネット受付

午前8時〜午後11時30分
(土日祝日を含め毎日)

日本年金機構のホームページからお申し込みください。



▲お申し込みはこちらから

■お問い合わせ

日本年金機構 白河年金事務所
☎0248-274161

学生の国民年金納付 特例制度について

20歳になると国民年金に加入し保険料を納付しなければなりません。収入がなく、保険料を納めることが困難な学生には、保険料の納付を後払いにすることができ「学生納付特例制度」があります。

○申請方法

新たに納付特例を希望される方は、必要書類を準備し、住民課医療年金係窓口で申請手続きをお願いします。

○必要書類

- ① 基礎年金番号またはマイナンバーがわかるもの
- ② 在学証明書または学生証(表・裏)のコピー

※すでに納付特例の承認を受けていて、在学予定期間が満了していない方には、日本年金機構から申請書(ハガキ)が送付されます。4月以降も引き続き納付特例を希望する場合は、必要事項を記入し、提出をお願いします。

■申請窓口・お問い合わせ

住民課 医療年金係
☎33-2116

農地が適正に利用されつづけるために 地域計画を策定しました



地域農業の課題や誰が・どこの農地を耕作するか等を地域で話し合い、将来の地域農業の設計図をまとめた地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）を策定しました。

地域計画は産業振興課窓口、町ホームページで確認することができます。

棚倉町 地域計画

検索



ホームページ

昨年11月に開催しました地区説明会（協議の場）や営農状況意向調査にご協力いただきありがとうございました。

【4月から農地に関わる手続きが変わります】

◆農地の貸借手続きが変わります

4月からは貸借の手続きを以下のいずれかの方法により行うこととなります。

農地法第3条に基づく許可申請

農地中間管理機構を通じた契約

※これまで農業委員会で行っていた、農用地利用集積計画による貸借ができなくなります。

◆地域計画区域内の農地転用や農振除外

4月以降に、地域計画区域内で農地転用や農振除外を行う場合、あらかじめ地域計画区域から除外する必要があります。そのため、これまでより手続きに時間を要する可能性があります。

地域計画区域からの除外を伴う農地転用や農振除外をする場合は、必ず産業振興課、農業委員会へ事前相談をお願いします。相談は随時受け付けています。

■お問い合わせ 産業振興課農林係 ☎33-2113 農業委員会 ☎33-7883



☎33-2116

住民課 消防環境係

■お問い合わせ

死ゼロを目指す日です。一人ひとりが交通ルールを守り、事故をなくしましょう。

また、4月10日(木)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。一人ひとりが交通ルールを守り、事故をなくしましょう。

歩行者の皆さんは、「信号を守る」「横断歩道を横断する」など

児童・園児の手本となるような交通マナーを実践しましょう。

春から入学する児童・園児は、道路上のルールにまだ不慣れです。

ドライバーの皆さんは、思いやりをもって、スピードを抑えた安全運転を心がけましょう。

間、春の全国交通安全運動期間です。

4月6日(日)～15日(火)までの10日間、春の全国交通安全運動期間です。

春から入学する児童・園児は、道路上のルールにまだ不慣れです。

ドライバーの皆さんは、思いやりをもって、スピードを抑えた安全運転を心がけましょう。

歩行者の皆さんは、「信号を守る」「横断歩道を横断する」など

児童・園児の手本となるような交通マナーを実践しましょう。

また、4月10日(木)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。一人ひとりが交通ルールを守り、事故をなくしましょう。

死ゼロを目指す日です。一人ひとりが交通ルールを守り、事故をなくしましょう。

間、春の全国交通安全運動期間です。

4月6日(日)～15日(火)までの10日間、春の全国交通安全運動期間です。

春から入学する児童・園児は、道路上のルールにまだ不慣れです。

ドライバーの皆さんは、思いやりをもって、スピードを抑えた安全運転を心がけましょう。

歩行者の皆さんは、「信号を守る」「横断歩道を横断する」など

児童・園児の手本となるような交通マナーを実践しましょう。

また、4月10日(木)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。一人ひとりが交通ルールを守り、事故をなくしましょう。

死ゼロを目指す日です。一人ひとりが交通ルールを守り、事故をなくしましょう。

間、春の全国交通安全運動期間です。

■お問い合わせ
棚倉警察署 地域交通課
☎33-0110

自動車運転中は、周囲への注意を欠かさないようにしましょう。歩行者や自転車等がいるかもしれないので、危険を予測しながら運転しましょう。特に暗い時間帯には、ライトの向きをこまめに切り替えて前後左右の安全を確認し、安全に通行しましょう。また、信号や標識を見落とさないよう気を付けましょう。

歩行者や自転車利用者は、明るい服装や反射材用品を身に付けて安全に通行しましょう。

2月の棚倉町の交通事故発生状況

物件事故	傷者数	死者数	発生件数
21件	1人	0人	1件

棚倉警察署からのお知らせ

JR運賃精神障害者割引制度 導入について

4月1日(火)から精神障害者保健福祉手帳によるJR運賃割引が開始されました。

○割引制度の対象者

精神障害者保健福祉手帳をお持ちで、次の条件を全て満たす方

- ・手帳が有効期限内であること
- ・手帳に顔写真が貼ってあること
- ・手帳に旅客運賃減額(第1種または第2種の記載があること)
- ※第1種は手帳の等級が手帳1級、第2種は手帳2級または3級

○その他

健康福祉課福祉係(④窓口)で手続きができます。詳しくはお問い合わせください。

なお、割引内容の詳細はJRグループのホームページ等をご確認ください。

■お問い合わせ

健康福祉課 福祉係

☎33-2117



B型肝炎相談会を開催します

幼少期の集団予防接種が原因でB型肝炎ウイルスに感染した方と、そのご家族を対象に、弁護士による相談会を実施します。個人情報保護は厳守されますので、安心してご相談ください。

対面での相談

○日時 5月10日(土)

午後1時30分～4時
(受付午後3時まで)

○場所

郡山市労働福祉会館
第3・4会議室

○その他

当日会場での申し込みが可能ですが、予約の方を優先案内します。

電話での相談

○日時 5月17日(土)

午前10時～正午

○内容

B型肝炎特別措置法に基づく給付金支給手続きに関する相談

○その他

相談料無料
(通話料は相談者負担)

■お問い合わせ・電話相談先

全国B型肝炎訴訟

新潟・福島・山形事務所

☎024-223-1130

自衛官採用試験のお知らせ

○申込受付期間

- ・医科幹部、歯科幹部
5月22日(木)まで
- ・キャリア採用幹部
5月16日(金)まで
- ・技術曹
5月16日(金)まで
- ・一般曹候補生
5月7日(水)まで
- ・自衛官候補生
年間を通じて行っております。

※詳しくは自衛官募集ホームページをご確認ください。

■お問い合わせ・お申し込み

自衛隊福島地方協力本部

白河地域事務所

☎0248-24-0372



▲自衛官募集
ホームページ

棚倉町水郡線団体利用促進事業補助金について

町では、水郡線の利用を促進するとともに、町民のマイレール意識を醸成するため、行政区などの公共的団体等が行う事業で、水郡線を利用する場合に補助金を交付します。

○補助対象事業・対象者等

町内に所在する駅で乗車または降車して行う次のいずれかの事業で、10名以上で利用する団体に水郡線利用区間の旅客運賃全額を補助します。

- (1)町が主催または共催する事業
- (2)町内保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校が行う学校行事等
- (3)行政区が行う教育的活動または文化的活動
- (4)その他、公共的と認められる活動（PTA、スポーツ・文化団体等）



○申請に必要な書類等

交付申請書、行程・参加人数等が分かる資料、請求書、乗車したことが証明できる書類（領収書等）

※補助事業を実施する2週間前までに申請が必要です。

■申請・お問い合わせ 産業振興課 商工係 ☎33-2113

棚倉スポーツクラブ 教室案内

4月は会員の
更新月です

会員の方は総合体育館窓口で更新の手続きをお願いします。また、スポーツ保険にもご加入ください。

新規会員も随時募集していますのでお気軽にお問い合わせください。

楽しく体を動かして、元気な毎日を過ごしましょう。

○年会費

19歳以上 2,000円
18歳未満 1,000円

未就学児 無料

○保険料

400円～920円
(年齢によって異なります。)



ボウリング教室 (場所:棚倉アローボウル)

4月10日(木)・24日(木) 午後7時～

健康吹矢教室 ※

4月11日(金)・18日(金)・25日(金) 午前10時～

卓球教室 ※

4月12日(土)・26日(土) 午前10時～

簡単ヨガピラティス教室 (場所:町立図書館)

4月24日(木) 午後7時30分～

ストレッチ教室 ※

4月15日(火)・22日(火) 午前10時～

バドミントン教室 ※

4月15日(火) 午後7時～

ボッチャ教室 ※

4月19日(土) 午前10時～

ランニング教室 (場所:棚倉町運動広場)

4月9日(水)・16日(水)・23日(水)

午後6時30分～

キッズ教室 ※

4月17日(木) 午後6時30分～

レクダンス教室 (場所:町立図書館)

4月11日(金)・18日(金)・25日(金)

午前9時30分～

ゴルフ教室 (場所:花園ゴルフ練習場)

4月22日(火) 午後6時～

※場所は総合体育館

■お問い合わせ

棚倉スポーツクラブ事務局

☎33-3160

補助・助成

たな暮らし住宅取得支援事業

定住意思のある若者・子育て世帯の、住宅取得費用等の一部を助成します。詳しくはホームページをご確認ください。

○対象

次のいずれかの世帯
・夫婦のいずれかが45歳未満の婚姻世帯

・18歳以下の子を有する世帯

○助成額

最大60万円

○その他

対象となる方には、固定資産税納税通知書と併せて通知します。増改築・改修の方はお問い合わせ下さい。

■お問い合わせ

地域創生課 企画調整係

☎33-2112

大学生等通学支援事業

町にお住いの大学生等の通学費用の一部を助成します。詳しくはホームページをご確認ください。

○対象

通学定期券により通学する大学生等

○要件

公共交通機関の運行距離が概ね40km以上

○助成額

通学定期券購入金額の2分の1
(月額上限…1万円)

○その他

申請は通学定期券利用可能期間の終了1ヵ月前からとなります。

■お問い合わせ

地域創生課 企画調整係

☎33-2112

地域創生推進事業補助金

地域創生のために地域住民の方が主体となって企画・実践する事業に対して、予算の範囲内で補助金を交付します。

○対象者

事業を主催する団体

○補助金額

1事業あたり30万円を上限に、補助対象経費の5分の4以内の額

○その他

交付決定前にかかった経費は補助対象となりませんので、事業開始前に余裕を持って申請してください。

・予算枠、諸条件など留意点がありますので、詳しくはお問い合わせください。

■お問い合わせ

地域創生課 企画調整係

☎33-2112

里山づくりを応援します

豊かな自然を守り、里山を活用した地域づくりに取り組む事業を行う団体に対し、予算の範囲内で補助金を交付します。

○対象事業

・里山や里山環境を整備、保存するために必要な活動等

・良好な里山づくりのための研修や啓発などの活動等

○補助金額

25万円を上限に補助対象事業費(消耗品費・燃料費・研修費等)の全額を補助

○受付期限

5月30日(金)まで

※詳しくはお問い合わせください。

■お問い合わせ

産業振興課 農林係

☎33-2113



Let's たなちゃん 人づくり激励金

スポーツおよび文化・芸術等の大会出場者に激励金を交付します。

○対象者

①東北大会以上に出場する町内の小・中学生および町内に住所がある高校生

②東北大会以上に出場する町内出身の中学生および高校生で、保護者が町内に居住する方

③福島県代表として国民体育大会、国民文化祭、ねりんピックおよび国際大会など、特定の大会に出場する、町内に住所がある方(高校生以下を除く)

④激励金の対象となる東北大会および全国大会に出場する町内に本拠地を置いている団体

※詳しくはお問い合わせください。

■お問い合わせ

・スポーツに関して

町総合体育館

☎33-3160

・文化・芸術に関して

生涯学習課 生涯学習係

☎33-0111

募 集

町営住宅入居者を募集します

○募集住宅

愛宕平団地（1号棟1階）

2LDK 1戸

（平成8年建築 中層耐火3階建）

愛宕平団地（3号棟4階）

3LDK 1戸

（平成12年建築 中層耐火4階建）

愛宕平団地（4号棟3階）

3LDK 1戸

（平成12年建築 中層耐火4階建）

関口字愛宕平56番地1

※駐車場各1台分有（料金は別途）

小山下北団地

2DK 1戸

（昭和47年建築 簡易耐火平屋）

棚倉字小山下36番地3

○申込期限

4月14日（月）午後5時まで【期日厳守】

○入居の時期

5月1日（木）

○その他

・住宅の家賃は入居者の収入などにより決定されます。

・申込者多数の場合は、抽選会を実施します。

■お問い合わせ・お申し込み

整備課 都市計画係

☎33-2114

第16回棚倉町民ゴルフ大会 参加者募集

ゴルフ愛好者相互の親睦とゴルフの健全な普及、技術とマナーの向上を目的に町民ゴルフ大会を開催します。皆さまお誘い合わせの上で参加ください。

○開催日 5月25日（日）

○会場 棚倉田舎倶楽部

○対象 町民および町内在勤者

○定員 160人（40組）

○参加費 1万1300円

（参加費、セルフプレー費込み、昼食・ソフトドリンクバー付き）

○申込先 棚倉田舎倶楽部

○受付期間 4月14日（月）～5月9日（金）

ただし、定員になり次第締め切ります。

○主催 棚倉町民ゴルフ大会実行委員会

○後援 棚倉町、棚倉町商工会

○その他 詳細はお問い合わせいただくか、チラシ等をご確認ください。

■お問い合わせ・お申し込み

棚倉田舎倶楽部

☎33-3191

5月 子どもセンターイベント情報

おはなしルーム	
○日時	5月9日（金） 午前11時～
○対象	どなたでも
○内容	～小鳥のお話～ （絵本・紙芝居など）

すくすくルーム	
○日時	5月13日（火） 午前10時～
○対象	未就学のお子さんと保護者
○内容	コネコネしよう （小麦粉粘土）

受講生を募集します

①親子ふれあい教室（登録制）

○対象 小学生と保護者（先着20組）

○活動 ハイキング、木工など

②キッズクラブ（登録制）

○対象 小学3～6年生（先着20人）

○活動 野外活動、創作活動など

※①②とも活動期間は6月～2月（月一回）です。

※応募は学校などを通じて配布する募集チラシにより子どもセンターへ直接お申し込みください。

■お問い合わせ

子どもセンター

☎57-5310

棚倉町の魅力をCMで伝えよう

第10回たなぐらCMコンテストを開催中です。歴史や文化、食、観光スポットなどたくさんの方の『棚倉町の魅力』を15秒間の映像に詰め込んだアイデアあふれる作品を募集します。

○応募期間 6月30日（月）まで

○募集内容

・CM作品動画および作品紹介動画
・使用する映像は町内で撮影したものに限ります。（撮影期間については問いません）
・他のコンテストに入賞した作品、応募中の作品は無効とします。

○賞 入賞 2点
グランプリ 1点

○作品の活用

グランプリ作品については、『KFB・東邦銀行 ふくしまふるさとCM大賞』に町代表作品としてエントリーします。

○その他

・作成にあたっては、肖像権・著作権等に十分注意して作成してください。
・詳しくはホームページをご確認ください。

■お問い合わせ

地域創生課 企画調整係

☎33-2112



倉美館情報

■町文化センター（倉美館）

開館時間 午前9時～午後5時

（毎週月曜日・祝日は休館日。※月曜日が祝日のときは火曜日も休館します。）

■お問い合わせ・お申し込み

町文化センター ☎33-9610 FAX33-9611

日 時	事 業 名 お よ び 内 容	チケット料金
5月5日(月) 1 回目 開場：午前10時30分 開演：午前11時00分 2 回目 開場：午後1時30分 開演：午後2時00分	サンリオファミリーミュージカル ～ Song of Life ～ あの人気キャラクターたちが棚倉町に やってくる！ 公演内容の詳細はこちらから▶  TUFホームページ	全席指定 前売券 3,000円 当日券 3,500円 ※3歳以上のお子さんは有料です。 ※2歳以下は保護者1名につき1名まで膝上鑑賞可能ですが、座席が必要な場合は有料となります。 ※文化センターのほか、チケットぴあ、セブンチケット、ローソンチケットにて取り扱っています。

※チケット購入後の返金及び交換は一切できません。

～♪あなたも倉美館事業の運営に参加してみませんか♪～

「倉美館運営協会 会員募集中！」

倉美館運営協会は、クラシック・ポップス・演歌などの音楽コンサートや、舞台演劇、ミュージカル、歌舞伎、落語、お笑いステージ、映画上映など様々なジャンルの公演を行っています。

現在、新規会員を募集しています。音楽が好きな方、演劇や芸能に興味のある方、協会会員として一緒に活動してみませんか？学生や町外の方も大歓迎です。

入会費や年会費は無料ですが、公演の際にスタッフとしてお手伝いいただく場合はボランティア（無償）での活動となります。

入会をご希望の方は、下記までご連絡ください。

■お問い合わせ・お申し込み

倉美館運営協会事務局（棚倉町文化センター内生涯学習課文化センター係）

☎33-9610 FAX 33-9611

mail : syougaiyakusyuu@town.tanagura.fukushima.jp



掲載した写真を差し上げます。
身近な情報がありましたら地域創生課までお知らせください！
地域創生課 企画調整係 ☎33-2112



ま ちの話題
Photos

Let's たなちゃん人づくり激励金 ～頑張る皆さんを応援します～ 各大会に出場した皆さんに激励金を交付しました。 今後も皆さんのご活躍を応援しています。

○DanceDrill Winter Cup 2025 第16回全国高等学校ダンスドリル冬季大会

しらいし はのん
白石 葉音さん（学校法人石川高等学校1年）

○第37回東北高等学校剣道選抜優勝大会

いながき のあ
稲垣 希愛さん（白河旭高等学校1年）

○第48回東北高等学校ハンドボール選抜大会

おざき たくほ
尾崎 拓歩さん（学校法人石川高等学校2年）

○第77回全日本合唱コンクール全国大会、第79回関東合唱コンクール

かたの ゆか
片野 由佳さん（都留文科大学2年）



▲白石葉音さん（後列中央）



▲稲垣希愛さん



▲尾崎拓歩さん（前列右から1番目）



▲片野由佳さん（前から2列目右から3番目）

全国の頂点に



高野小学校が、第21回すららカップの学校部門（すららドリル学校対抗戦）において全国第1位に輝きました。

すららカップは、学校向けICT教材「すららドリル」の学習者同士が、どのくらい学習に取り組んだかを競うもので、初参加となった昨年は第2位に入賞していました。

高野小学校の池田校長、^{みどりかわ まゆ}緑川真由さん、^{すずき}鈴木彩夏さんが役場を訪れ、喜びを報告しました。

地域防災体制の確立を図る



春季全国火災予防運動に合わせて、「署団合同火災防御訓練」が福井地内で行われました。

訓練は、消防技術の向上、地域の防災体制の確立と防災意識の向上を目的に行われ、社川河川敷から出火したと想定し、地域住民による通報訓練から消防団第3分団による放水訓練までを行いました。

また、今回は初の試みとしてホース26本、総延長485メートルの長距離中継送水訓練が行われました。

新車両の引き渡し



役場南側駐車場において、消防団第4分団第5班および第6班への小型動力ポンプ付積載車の引き渡し式が行われました。

町では、老朽化した古い車両から順番に入れ替えており、両班が使用していた車両はどちらも20年以上が経過していました。

式には、消防団幹部と第4分団第5班および第6班の班員が出席し、宮川町長から原団長に鍵が贈呈されました。

仲間と一緒に楽しく学習



町文化センターリハーサル室において、令和6年度修道館大楽の閉講式が行われました。

式では、208単位を取得した菊地弘美さんに「生涯楽士」を、100単位以上取得した3名の方に「奨励賞」をそれぞれ授与しました。

その後、「イキイキ健康！音読トレーニング」と題し、一般社団法人日本朗読検定協会音読ヘルストレーナー引田さいこ氏による講演会が行われました。

文化芸術の祭典



「第47回文化祭合同発表会」が、町文化センターにおいて開催されました。

町の文化団体連絡協議会に所属する団体を中心に、それぞれ作品展示や舞台発表が行われ、日頃の練習の成果を披露しました。

訪れた人たちは作品・舞台に見入ったり拍手を送ったりと、文化祭を堪能していました。

おうちへ帰る時間になりました



春休み期間中（3月22日～4月6日）、夕方5時前に帰宅時間をお知らせする防災行政用無線は、近津小学校6年陣野倫太郎さんが担当しています。

陣野さんは「話すことが好き。中学校ではコミュニケーション力を伸ばしたい。中学生に向けた第一歩。」と話してくれました。

いのちについて考える



東日本大震災の被災日に合わせて、近津小学校で防災教室「命を考える会」が行われました。

日本赤十字社の職員を講師に招き、学年ごとにテーマに沿った防災教育、6年生による調べ学習の発表が行われ、震災・防災への理解を深めるとともに、命の大切さについて、学びました。

また、地震発生時刻に黙とうをささげ、震災の被害にあわれた方々を悼みました。

立派な自衛官を目指して



陸上自衛隊に入隊する高橋賢斗さん（白河実業高校塙校舎卒）の激励式が行われました。

式では、町や協力団体から記念品が贈呈され、入隊する高橋さんを激励しました。

高橋さんは自衛隊を志したきっかけを語り、立派な自衛官になることを誓い、「国のために尽力します」と力強く抱負を話してくれました。





修明高校通信

-Vol.17-



修明高校ボランティア愛好会では、先輩方が制作した『いきいきかるた』を継承するため活動として、『いきいきすごろく』を制作しました。「認知症を予防するためにできることをわかりやすく伝える取り組みを行いたい」という思いからです。

『いきいきすごろく』の制作にあたり、実体験をもとに高齢者や介護・認知症予防について知り、学ぶ機会を持ちたいと考え、町健康福祉課高齢者係、地域包括支援センター、家族介護の会「亀楽の会」と連携した以下の5つの活動を行いました。

- 1 高齢者疑似体験
- 2 高齢者買い物支援ツアーボランティア
- 3 『いきいきくらぶ』でのボランティア
- 4 『たなちゃんカフェ』でのボランティア
- 5 亀楽の会の皆さんとの交流会



これらの活動を経て、すごろくのマス目の言葉を検討した後、それらの言葉に合うイラストを作成しました。

制作の過程で、町で昭和14年に作成された商店街すごろくがあることが分かり、このデザインも参考にしながらすごろく全体のデザインを固め、『いきいきすごろく』が完成しました。

修明高校ボランティア愛好会は、東白川郡唯一の高校として、「地域の中で私たち高校生ができることは何か」ということを第一に考え、活動しています。超高齢化社会となった現在、高齢者との地域共生に向けて大事な『多世代での活動』と『行政・民間との連携』を実現する活動を、私たち高校生が意見や知恵を出し合い、進めていきたいと思っています。

認知症サポーターキャラバン 優秀賞 ボランティア・スピリット・アワード コミュニティ賞 を受賞しました

修明高校ボランティア愛好会が、令和6年度認知症サポーターキャラバン 自由作品部門 高校生の部において優秀賞を受賞しました。

これは、町で実施した認知症サポーター養成講座を受講し、亀楽の会の皆さんと共同で認知症に対する理解などについてまとめた活動報告作品「いきいきすごろく」が優れた作品として表彰されたものです。

また、これらの「高校・行政・民間が連携して推進する高齢者福祉ボランティア活動」が認められ、第28回ボランティア・スピリット・アワードにおいてコミュニティ賞を受賞しました。

いきいきすごろくは町内介護事業所等に配布し、利用者や介護者に楽しく利用いただいております。





米寿を迎えました



佐藤 武義さん
(金沢内)
昭和12年3月1日生



蛭田甲子雄さん
(上台)
昭和12年3月1日生



鈴木 和子さん
(戸中)
昭和12年3月5日生



鈴木 末子さん
(城跡)
昭和12年3月8日生



尾又 ハツさん
(強梨)
昭和12年3月10日生



小松 フサさん
(中居)
昭和12年3月14日生



根本タカ子さん
(漆草)
昭和12年3月17日生



高橋 磯吉さん
(流)
昭和12年3月17日生



武地 義文さん
(流)
昭和12年3月20日生



赤坂マサ子さん
(古町)
昭和12年3月20日生



市川ナミエさん
(八槻)
昭和12年3月21日生



二瓶 正夫さん
(西中居)
昭和12年3月23日生



遠藤 哲雄さん
(新町)
昭和12年3月27日生



中村 金一さん
(八槻)
昭和12年3月28日生



おめでた (2月中の届け出)

両親の名	出生児	住 所
高宮 滉平・千 紘	吏 翔(りと)	山 田
小野 泰基・瑞 生	陽 翔(はると)	宮 下
山本 和希・百 花	陽 稀(はるき)	日向前

※「おめでた」・「おくやみ」について、掲載を希望されない場合は、地域創生課 企画調整係(☎33-2112)までお申し出ください。

お詫びと訂正

1月号12ページ下部「令和6年度コミュニティ助成事業」の記事の中で、「第5区自治会」とありますが、正しくは「棚倉町第5区」です。ここに訂正し、お詫びいたします。

おくやみ (2月中の届け出)

亡くなった方	年齢	住 所	亡くなった方	年齢	住 所
大塚 さた	99	館ヶ丘	高橋 伸春	97	流
陣野 久信	67	館ヶ丘	鈴木シツエ	98	館ヶ丘
藤田 娃子	94	館ヶ丘	藤田 宗男	78	新 町
岸波 文子	94	福 岡	鈴木 清道	94	館ヶ丘
菊地 ノブ	94	館ヶ丘	一関 征枝	83	風呂ヶ沢
和知 則男	70	中山本	須藤 啓	72	堤
須藤 友喜	86	玉 野	高萩 フク	92	館ヶ丘
渡邊きよ子	73	寺 山	橋本 啓司	87	館ヶ丘
鈴木 タイ	88	関 口	高橋 セキ	84	関 口
緑川 順子	65	漆 草	武地 三郎	94	東中居
鈴木 チヨ	88	日向前	米山 常勝	75	下山本
岸波アキ子	84	山 際	阿部 勇孝	51	流
小林 誠	68	一 色			

人の動き 令和7年3月1日現在

人口 12,747人(−36人) 世帯数 5,109世帯(±0世帯) 男性 6,292人(−11人) 女性 6,455人(−25人)

編集後記

今回は幼稚園・小中学校、高校の卒業式へ取材に行ってきました。卒業された皆さん、おめでとうございませう。元気いっぱいの幼稚園生、ぶかぶかの新しい制服に身を包み初々しい姿の小学生、それぞれの進路へと歩みだす凛々しい姿の中学生、一人前の大人の顔になった高校生。それぞれの卒業式でそれぞれの「らしさ」を見ることができました。皆さんが次のステージで活躍する姿をまた取材できることを楽しみにしています。(大竹)

卒園・卒業おめでとうございます



修明高校



棚倉中学校



棚倉中学校



棚倉幼稚園



社川幼稚園



近津幼稚園



棚倉小学校



社川小学校



近津小学校



高野小学校

たなぐらスナップ

～ひなまつり～

3月3日(月)、各幼稚園ではひなまつり会が開かれ、女の子の健やかな成長を願いました。
ひなまつり会では、男の子がダンスを披露したり、桜餅と白酒に見立てたジュースをみんなで食べたりとひなまつりを楽しみました。



棚倉幼稚園



社川幼稚園



近津幼稚園



むし歯のない子

●3歳児の健康診査で、むし歯がありませんでした。



こまつ りくくん
お姉ちゃんと仲良く歯
みがき頑張ってます！



すずき ゆきはちゃん
毎日、歯みがき頑
張ってます！



のだ つむぎちゃん
にいとと一緒に毎日ピ
カピカに磨いてます。



ましこ めいちゃん
毎日、歯みがき頑
張ってます。

よく磨けました！



11月の健診でむし歯がなかった皆さんです。4月号、5月号、6月号の3回で紹介します。